

**公益社団法人 日本経営工学会**  
**第 31 期第 5 回理事会議事録**

日 時：平成 24 年 3 月 17 日（土）15:00～19:30

場 所：早稲田大学理工学術院 62w 号館 1F 中会議室

出席者：(理事) 大成 尚, 荒井良尚, 河野宏和, 石井和克, 開沼泰隆, 葛山康典, 後藤正幸, 斎藤 文,  
中島健一, 水山 元 (監事) 玉木欽也, 松川弘明

欠席者：(理事) 高橋勝彦, 中出康一, 吉本一穂

**議決事項**

1. 議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料:5-1) 第 31 期第 4 回理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

2. 入退会承認の件

会員担当理事より、(資料:5-2) に基づき、正会員 8 名の退会、学生会員 1 名の退会および名誉会員 1 名の逝去による異動報告、ならびに、正会員 92 名、学生会員 95 名の除名、賛助会員 1 社の除名対象者が報告され、全会一致で承認された。

3. 名誉会員候補の件

会員担当理事より、(資料:5-3) に基づき、岸田孝弥氏、久米靖文氏、平木秀作氏の 3 名が名誉会員として推挙され、全会一致で承認された。

4. 経営工学 3 団体連携事業に関する覚書の件

庶務担当理事より、(資料:5-4) に基づき、経営工学 3 団体連携事業に関する覚書が提示され、全会一致で承認された。

5. その他

なし

**協議事項**

1. 定款の改定について

庶務担当理事より、(資料:5-5) に基づき、定款の改定について提案がなされた。主要な変更点は、除名の取り扱い、任意退会、資格の喪失に関わる事項である。会員喪失と論文掲載料未払いの関係などの問題が指摘され、引き続き庶務委員会にて検討することになった。

2. 選挙規則について

庶務担当理事より、(資料:5-6) に基づき、選挙規則改定案が提案された。第 8 条および第 9 条の立候補の受付定員に関する記述の問題が指摘され、引き続き庶務委員会にて検討することになった。

3. 大会規則について

庶務担当理事より、(資料:5-7) に基づき、大会規則における名誉会員の大会ネットワーキング参加費用負担について問題提起された。懇親会からネットワーキングに変更した当時の趣旨を継承し、次回大会は現行どおりに運用することとし、今後の大会については、大会委員会にて継続審議することになった。

4. 経理規則について

財務担当理事より、(資料:5-8) に基づき、経理規則の改定案が提案され、全会一致で承認された。

5. 平成 24 年度予算案について

財務担当理事より、(資料:5-9) および (資料:5-21) に基づき、予算案および過去の収支推移が説明され、今年度予算が赤字になることから、今後の収支改善策が議論された。支部予算はすでに提示済みで変更することが難しいことから、会員サービスを低下させることなく機関紙・論文誌の発行回数を減らすことで赤字を削減することになった。また、大会事務経費が膨らんでいることが問題視され、次年度より遂行可能な効率的大会運営方法を大会委員会にて考案し実行していくことになった。

6. 九州支部の支出について

財務担当理事より、(資料:5-10) に基づき、九州支部からの支出要請内容が説明された。公益法人に認定されてからは、懇親会費用の計上は認められていないが、九州支部の要請額から懇親会費を除いた金額は予算 23 万円以内に納まることから、要請に応じない方向で進めることが提案され、全会一致で承認された。

7. 平成 23 年度表彰について

表彰担当理事より、(資料:5-11) に基づき、平成 22 年度経営工学会各賞の選考結果、具体的には、学術賞 1 名、功労賞は該当なし、論文賞は該当なし、論文奨励賞は 2 名、経営工学実践賞は 2 名、経営システム賞は 1 名が選考された旨が報告されたが、経営工学実践賞については選考理由が不明確なために保留とし、次回理事会にて改めて承認することとなった。また、現状の曖昧な選考を是正するため、表彰の選考方法を規定した規程を表彰委員会で整備することが会長より要請された。

8. 経営関連協議会の評議委員候補および横幹連合の震災克服調査研究の連携研究の取り組み方について

国際渉外担当理事より、(資料:5-12-1) に基づき、経営関連協議会の評議委員候補者が提案され、玉木監事が評議委員として承認され、もう 1 名の評議員は、玉木監事が企画・行事委員会と相談し決定することになった。また、(資料:5-12-2) に基づき、横幹連合の震災克服調査研究の連携研究の取り組み方について説明がなされ、研究 WG を推進するか否かが議論された。本学会から派遣されている現在の理事より、何の報告もないことから、事情が把握できないため、河野副会長が中心となって継続協議することになった。

9. 研究部門の導入について

研究担当理事より、(資料:5-13) に基づき、研究会の審査結果と研究部門の導入について報告がなされた後、今後の運営が協議された。

10. 英文ホームページについて

庶務担当理事より、(資料:5-14) に基づき、英文ホームページを作成中であり、次回理事会までに報告することになった。

11. 業務委託契約の更新について

庶務担当理事より、(資料:5-15) に基づき、説明がなされ、会長と庶務担当理事で協議することとなった。

12. エリアエディタ制を含めた編集業務の継続検討の件

編集担当理事より、(資料:5-20)に基づき、現在のエリアエディタをもう1年運用し、その後にエリアエディタ制を含めた編集業務を継続検討することとなった。

13. その他

なし

**報告事項**

1. 国際渉外担当理事より、(資料:5-16)に基づき、協賛行事および対外協会連携について説明がなされた。
2. 会員担当理事より、(資料:5-17)に基づき、役員履歴調査について説明がなされた。
3. 庶務担当理事より、(資料:5-18)に基づき、大会予定、秋季決算案および予稿集 CD-ROM 化が説明された。
4. 論文誌編集担当理事より、(資料:5-19)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧について報告がなされた。
5. その他なし

※次回第31期第6回理事会は、平成24年5月26日(金)早稲田大学理工学術院にて18:00~20:00で開催する。

議 長 大成 尚 印

議事録署名人 玉木 欽也 印

議事録署名人 松川 弘明 印